

2019年度 アジア I R プレゼンテーション資料 (テレフォンカンファレンス)

2020年 3月



みんなを「つなぐ」と
未来はもっと明るく楽しい

トータル ICT ソリューションで、人と人、人と社会をつなぎ、
笑顔あふれる未来の実現に貢献します。

株式会社 協和エクシオ

1. 会社紹介

(1) 会社概要	…	2
(2) 沿革	…	3
(3) 業績ハイライト	…	4
(4) 事業概要	…	5
(5) グループ体制・拠点	…	9
(6) 世間からのご評価	…	10

2. 中期経営計画

(1) 中期ビジョン	…	11
(2) 基本方針	…	11
(3) 2020年度 業績目標	…	11
(4) 狙いと成長イメージ	…	12

3. 2019年度 第3四半期業績

(1) 概要	…	13
(2) 受注高	…	14
(3) 売上高	…	15
(4) 営業利益	…	16
(5) NTTグループ（アクセス、ネットワーク）	…	17
(6) NTTグループ（モバイル）	…	18
(7) NCC	…	19

(8) 都市インフラ	…	21
(9) システムソリューション	…	22

4. M&A戦略

(1) 事業領域別の展開イメージ	…	24
------------------	---	----

5. ESG、SDGsに関する取り組み

(1) ESGの取り組み	…	25
(2) SDGsへの取り組み	…	26

6. 株主価値の向上

(1) 株主還元施策	…	27
(2) 2019年度株主還元計画等	…	28

7. トピックス

(1) 当社社員が技能五輪全国大会で 金メダルを獲得	…	29
(2) 当社が「なでしこ銘柄」に選定	…	30

1. 会社紹介



(1) 会社概要

創 立	1954（昭和29）年5月17日
資 本 金	68億88百万円
株 式	東証一部上場（コード 1951） 売買単位 100株 発行済み株式数 117,812,419株
代 表 者	[会 長] 小園 文典 [社 長] 船橋 哲也
連結売上高 (2019年3月期)	4,237億円
連結従業員数 (2019年9月末)	13,714名
本 社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号
事 業 所	支店 13 営業所 21
連結子会社	90社
決 算 日	3月31日

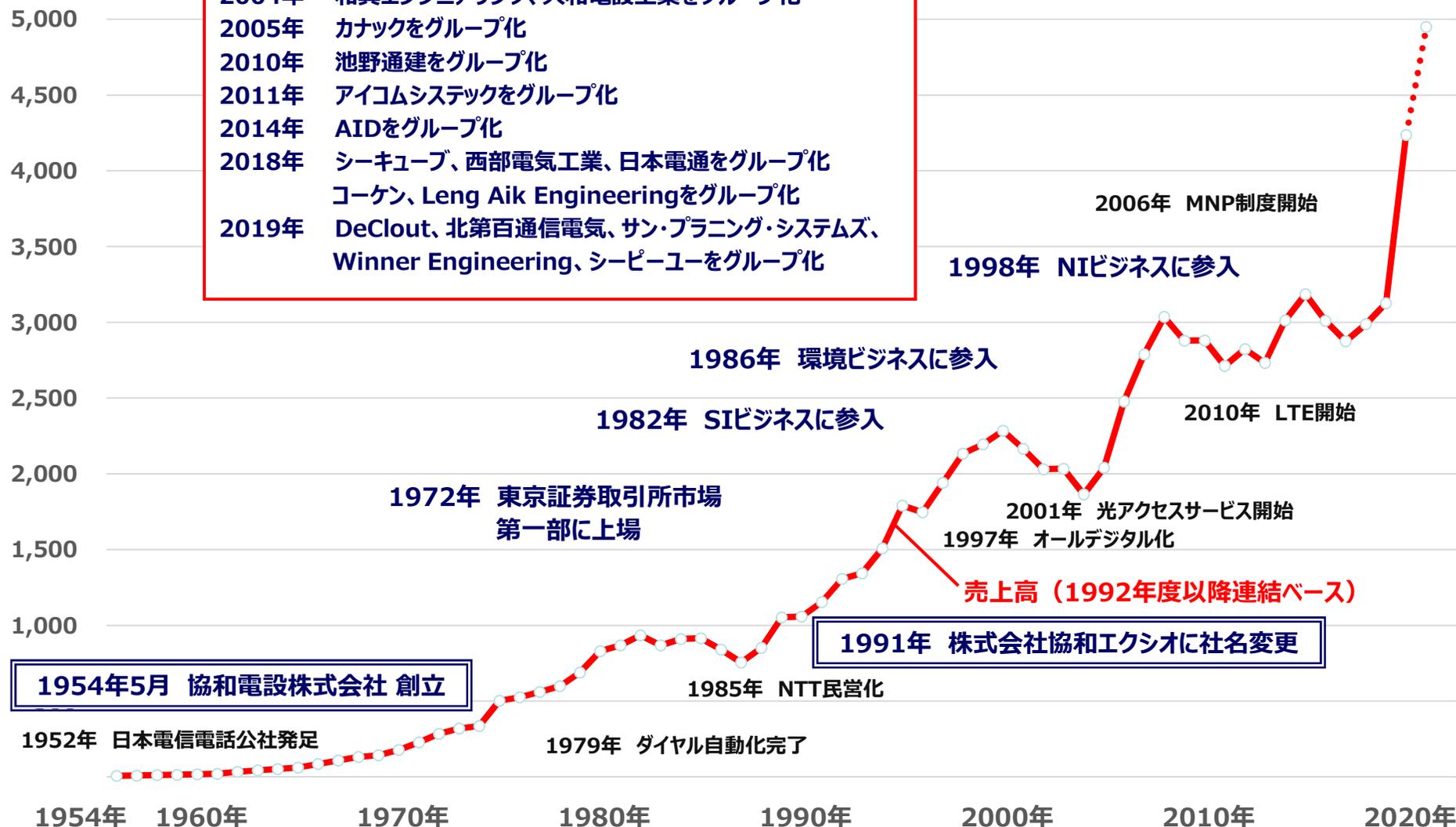
1. 会社紹介



(2) 沿革

売上高・連結

(単位：億円)



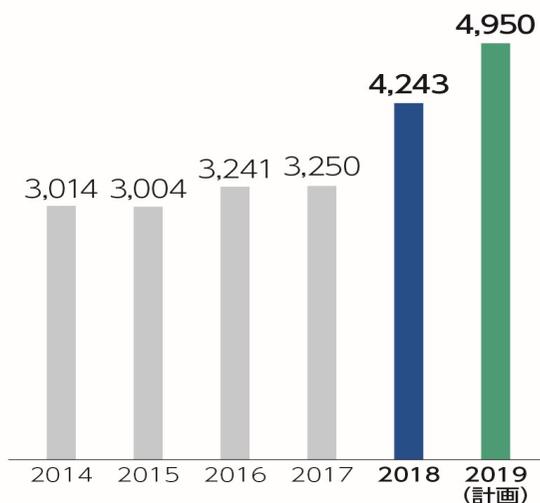
2001年	昭和テクノと合併
2004年	和興エンジニアリング、大和電設工業をグループ化
2005年	カナックをグループ化
2010年	池野通建をグループ化
2011年	アイコムシステックをグループ化
2014年	AIDをグループ化
2018年	シーキューブ、西部電気工業、日本電通をグループ化
2019年	DeClout、北第百通信電気、サン・プランニング・システムズ、Winner Engineering、シーピーユーをグループ化

1. 会社紹介

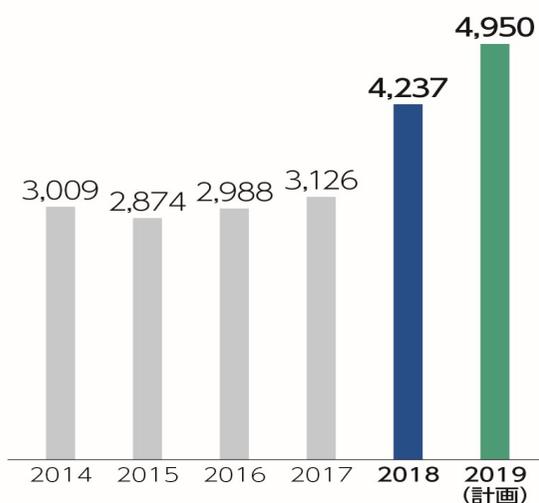


(3) 業績ハイライト

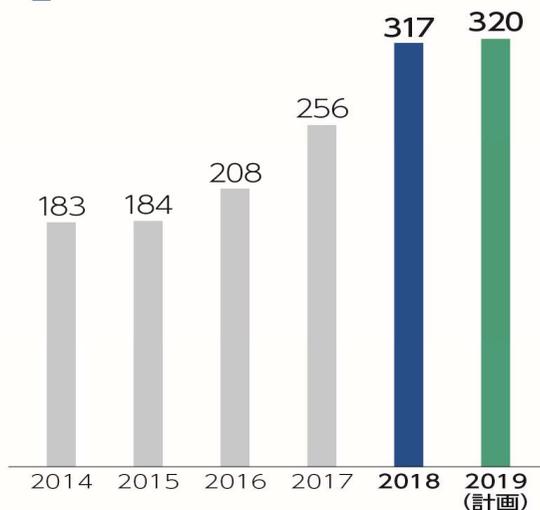
■ 受注高 (億円)



■ 売上高 (億円)



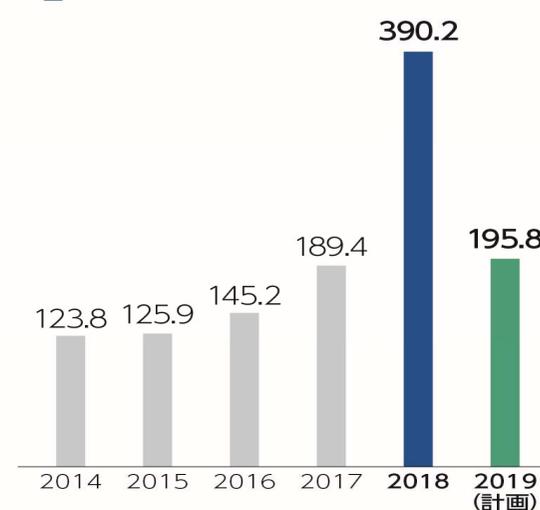
■ 営業利益 (億円)



■ 親会社株主に帰属する
当期純利益 (億円)



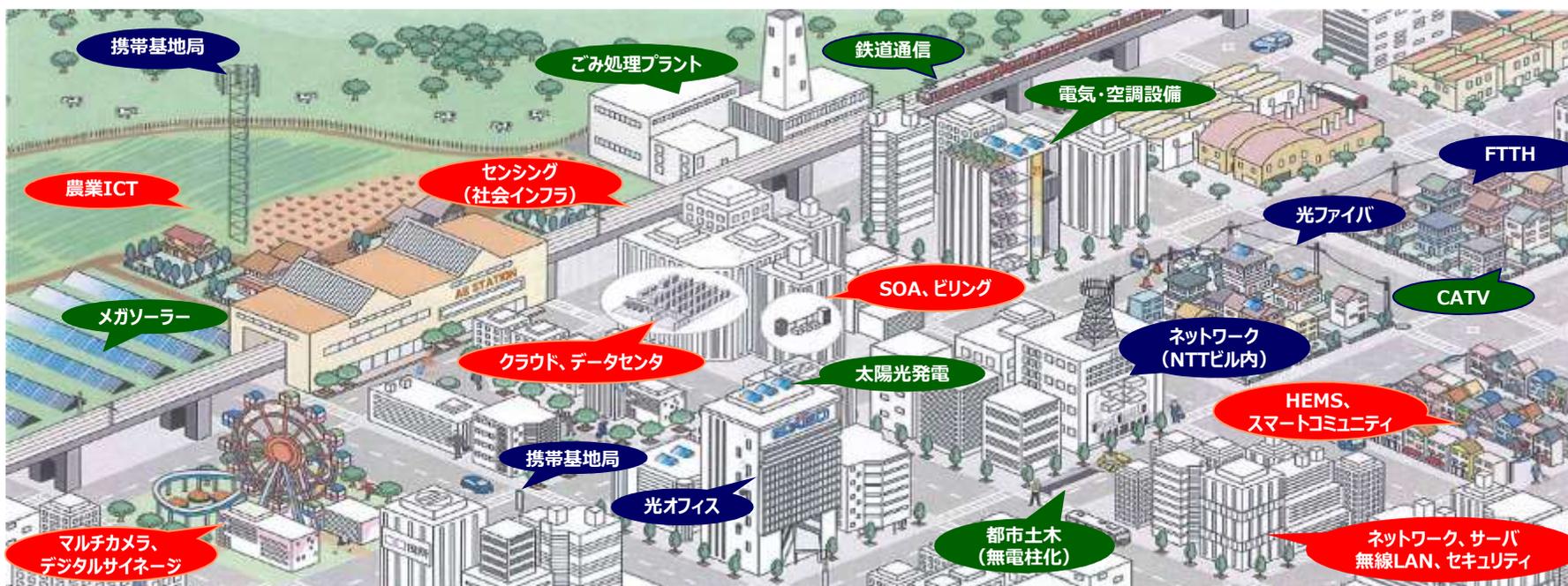
■ EPS (円)



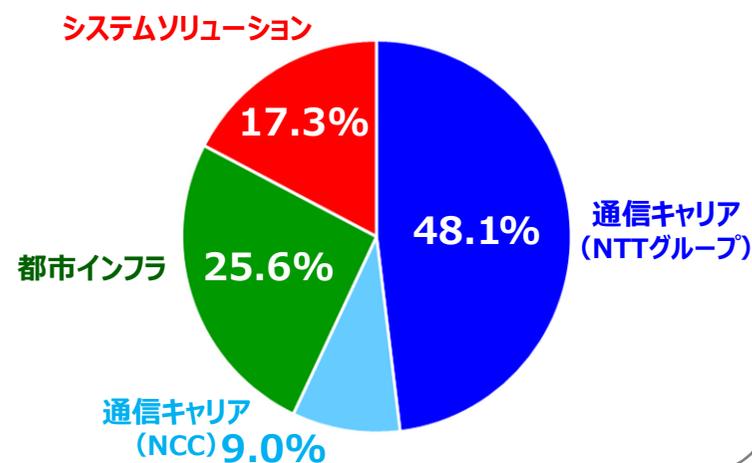
1. 会社紹介



(4) 事業概要



セグメント			売上高 (2019年3月期連結)
エンジニアリング ソリューション	通信キャリア	NTTグループ	2,036億円
		NCC	380億円
	都市インフラ		1,086億円
システムソリューション			734億円
合計			4,237億円



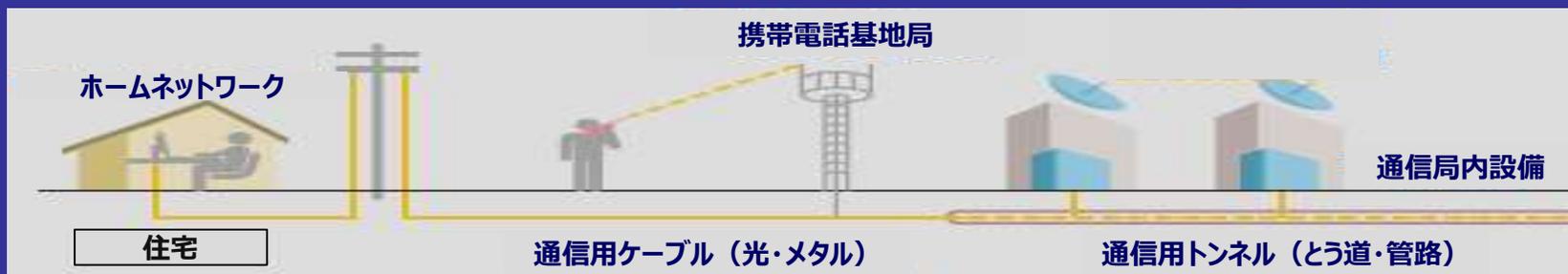
1. 会社紹介



(4) 事業概要 – 通信キャリア

◆ 創立以来、半世紀以上にわたって培ってきた当社のコア事業

- ・NTTグループ … NTTグループ各社の各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・NCC … KDDI,ソフトバンク,楽天向けの各種通信インフラ設備の構築・保守



【アクセス】



光ファイバ・ケーブル敷設工事、
FTTH工事、通信土木工事

【ネットワーク】

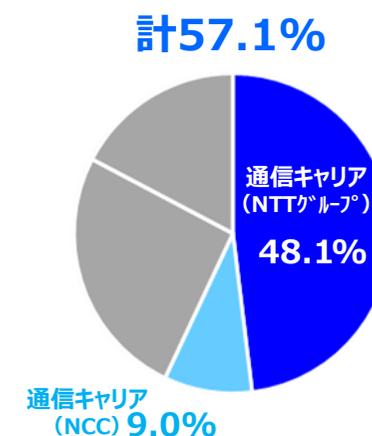


NTTビル内の交換機・
ルータ・サーバ設置工事、
付帯電気・空調工事

【モバイル】



屋外・屋内の携帯電話
基地局工事



1. 会社紹介

(4) 事業概要 – 都市インフラ

◆ 通信キャリアで培った通信・電気・土木技術を活かし、暮らしやすい社会の実現に貢献

- ・自治体、官公庁、CATV会社、鉄道会社、民間企業向けの各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・太陽光発電、バイオマスボイラ等の再生可能エネルギー関連工事
- ・オフィスビル、マンション、データセンタ等の電気・空調工事
- ・無電柱化を中心とした都市土木工事
- ・廃棄物処理プラント等の建設・運転維持管理

【道路通信工事】



【再生可能エネルギー】



【電気・空調工事】



【都市土木工事】

(施工前)



無電柱化

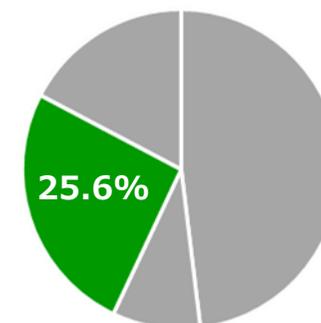


(施工後)



【廃棄物処理プラント】

ごみ処理プラント



1. 会社紹介

(4) 事業概要 – システムソリューション

◆ NI、SI分野でICTを活用したトータルソリューションを提供

- ・ネットワークインテグレーション (NI) … サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド、G空間、EMS、センシング等のネットワークソリューション・サービスの提供
- ・システムインテグレーション (SI) … 公共、通信、製造、金融分野の大規模受託開発の提供
ビジネスプロセス変革や業務支援ソリューションの提供
- ・グローバル … 海外の各種通信インフラ設備の構築・保守、ネットワークソリューションサービスの提供

【ネットワークインテグレーション】



カスタマサービスセンタ

【システムインテグレーション】

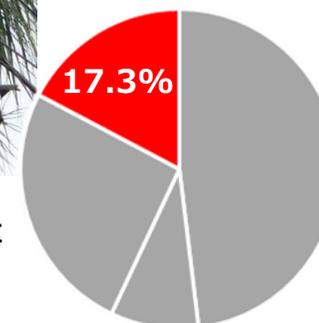


企業向けシステム構築事例の講演

【グローバル】



フィリピンのアクセス工事



1. 会社紹介

(5) グループ体制・拠点

■ グループ体制 (2020.3.1現在)

協和エクシオ (単体売上高 2,790億円)

主要グループ会社 (5社)

シーキューブ
(売上高640億円)

西部電気工業
(売上高560億円)

日本電通
(売上高340億円)

エクシオテック
(売上高226億円)

大和電設工業
(売上高164億円)

その他の連結グループ会社 (85社) 以下は主な会社

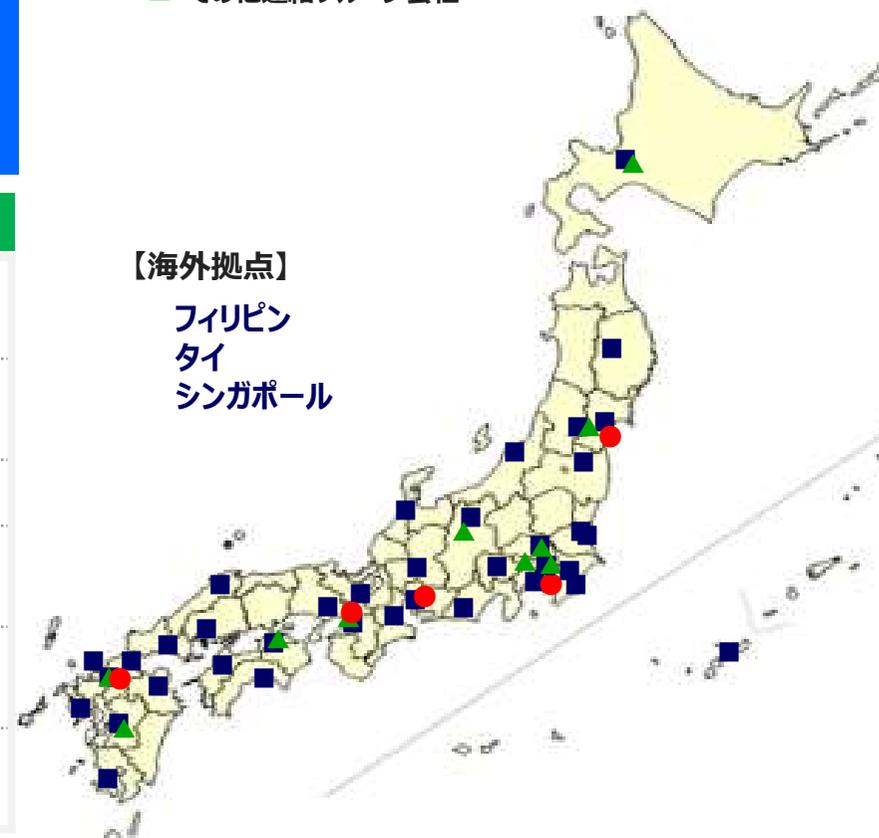
アクセス系	新栄通信/サンクレックス/エコス北栄/三協テクノ カナック/ケイ・テクノス/シグマックス
ネットワーク・ モバイル系	エクシオモバイル/東邦通信/ユウアイ通建/ 協栄電設工業/電盛社/北第百通信電気
土木系	エクシオインフラ/インフラテクノ
IT系	アイコムシステック/アレスコ/AID/WHERE/ サン・プランニング・システムズ/シーピーユー
グローバル系	MG EXEO/EXEO ASIA/EXEO GLOBAL/ LAE/DeClout/Winner Engineering
その他	キステム/キョクヨウ/新和製作所/エクシオ物流サービス エクシオビジネス/旭電話工業/コーケン

(注1) 各社の売上高は2019年3月期実績

(注2) シーキューブ、西部電気工業、日本電通は2018年10月からグループ化しましたが、3社とも年間売上高を記載

■ 拠点

- 本支店・営業所
- 主要グループ会社
- ▲ その他連結グループ会社



1. 会社紹介



(6) 世間からのご評価

■ JPX日経400 採用銘柄

JPXグループと日本経済新聞社が、資本の効率的活用や株主を意識した経営など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たす「投資者にとって投資魅力の高い会社」400社を選定（3年平均ROE等に基づき毎年8月入替実施）

■ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 採用銘柄

MSCIが日本の時価総額上位700銘柄から、ESG評価に優れた企業を選別して構築（現在246銘柄で構成、毎年6月入替実施）



■ 子育てサポート企業として「くるみんマーク」取得

2015年に次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として厚生労働省から認定



■ 女性活躍推進法に基づく「えるぼし(最上位)」企業の認定取得

2016年に女性活躍推進に関する状況等が優良な企業として厚生労働省から認定



■ 日経スマートワーク経営調査 星3.5 に認定 (2019年11月)

働き方改革を通じて生産性向上に取り組む先進企業を選定する日経SmartWork経営調査において星3.5に認定



2. 中期経営計画（2016～2020年度）



（1）中期ビジョン

グループ総力を結集し、トータルソリューションで新たな成長ステージへ

（2）基本方針

1. 経営統合3社と一体となったグループシナジーの創出
2. ソリューションビジネスの加速とストックビジネスの拡大
3. 5Gなどの本格展開に向けた施工フォーメーションの構築
4. エクシオグローバルを起点とした海外事業の展開
5. 業務プロセスのデジタル化による生産性向上と高度IT人材の育成
6. 資本効率の向上による株主価値の拡大

（3）2020年度 業績目標

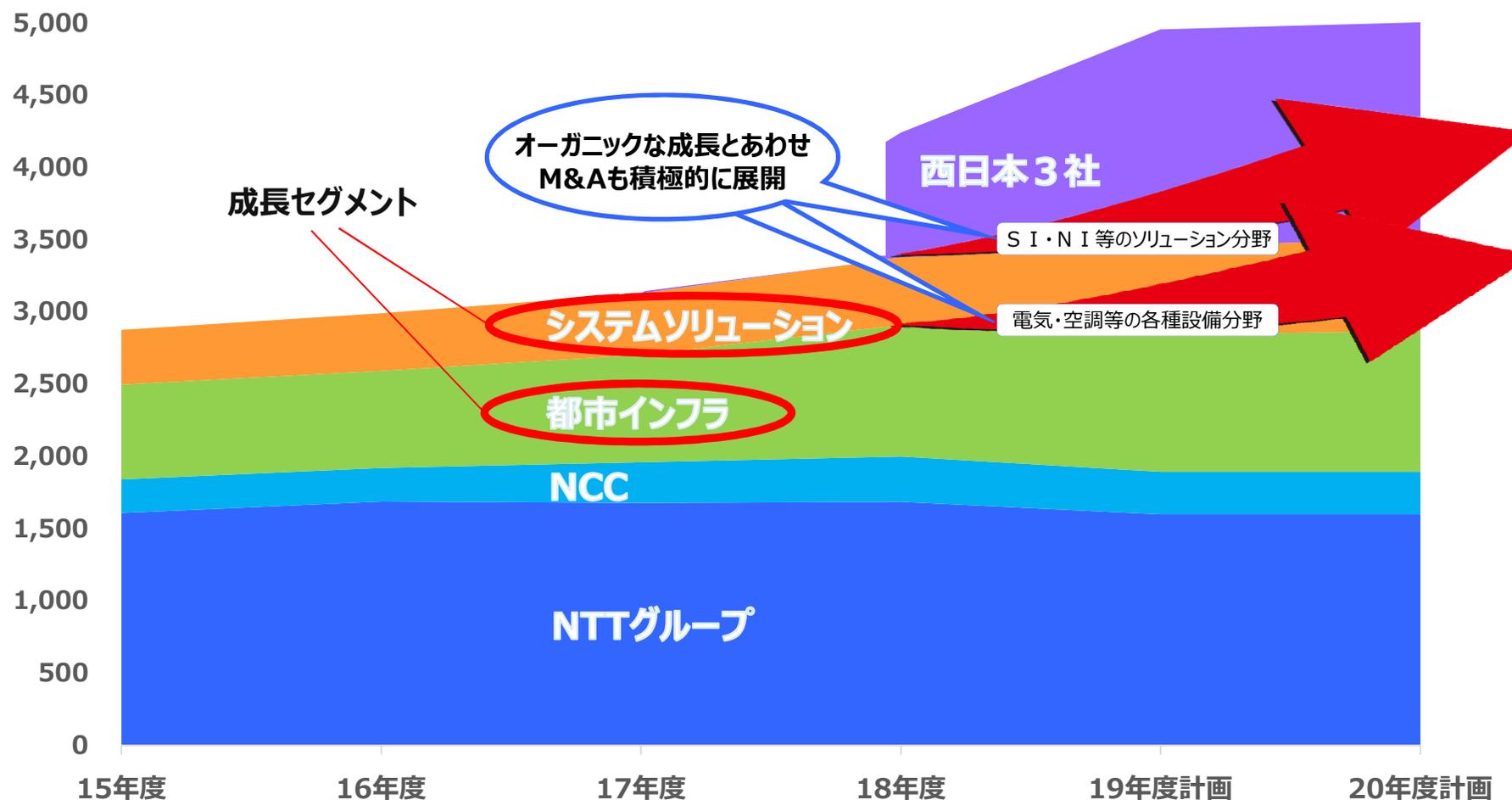
■ 売上高	5,000億円
■ 営業利益	330億円（利益率6.6%）
■ ROE	8.5%
■ EPS	210円

2. 中期経営計画（2016～2020年度）

（4）狙いと成長イメージ

（単位：億円）

売上高5,000億円を目指し、更なる成長ステージへ



3. 2019年度 第3四半期業績



(1) 概要

- ◆ オーガニックな業績拡大に加え、西日本3社との経営統合等により大幅増収
- ◆ グループ会社の増加等により販管費は増えたが、西日本3社の寄与もあり増益

■ 業績 (連結)

(単位：億円)

	19.3期(18年度)		20.3期(19年度)				
	第3四半期 累計期間 A	通 期 B	第3四半期累計期間			通 期	
			実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 進捗率 C/D	計 画 D	前期比 D/B
受 注 高	2,915	4,243	4,198	144%	85%	4,950	117%
売 上 高	2,476	4,237	3,337	135%	67%	4,950	117%
売 上 総 利 益	(13.3%) 329	(13.8%) 583	(13.1%) 437	133%	66%	(13.4%) 663	114%
販 管 費	(6.9%) 171	(6.3%) 266	(7.8%) 261	153%	76%	(6.9%) 343	129%
営 業 利 益	(6.4%) 158	(7.5%) 317	(5.3%) 175	111%	55%	(6.5%) 320	101%
経 常 利 益	(7.0%) 174	(7.9%) 334	(5.4%) 179	103%	55%	(6.6%) 328	98%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(12.0%) 297	(9.5%) 402	(3.2%) 108	36%	50%	(4.4%) 218	54%

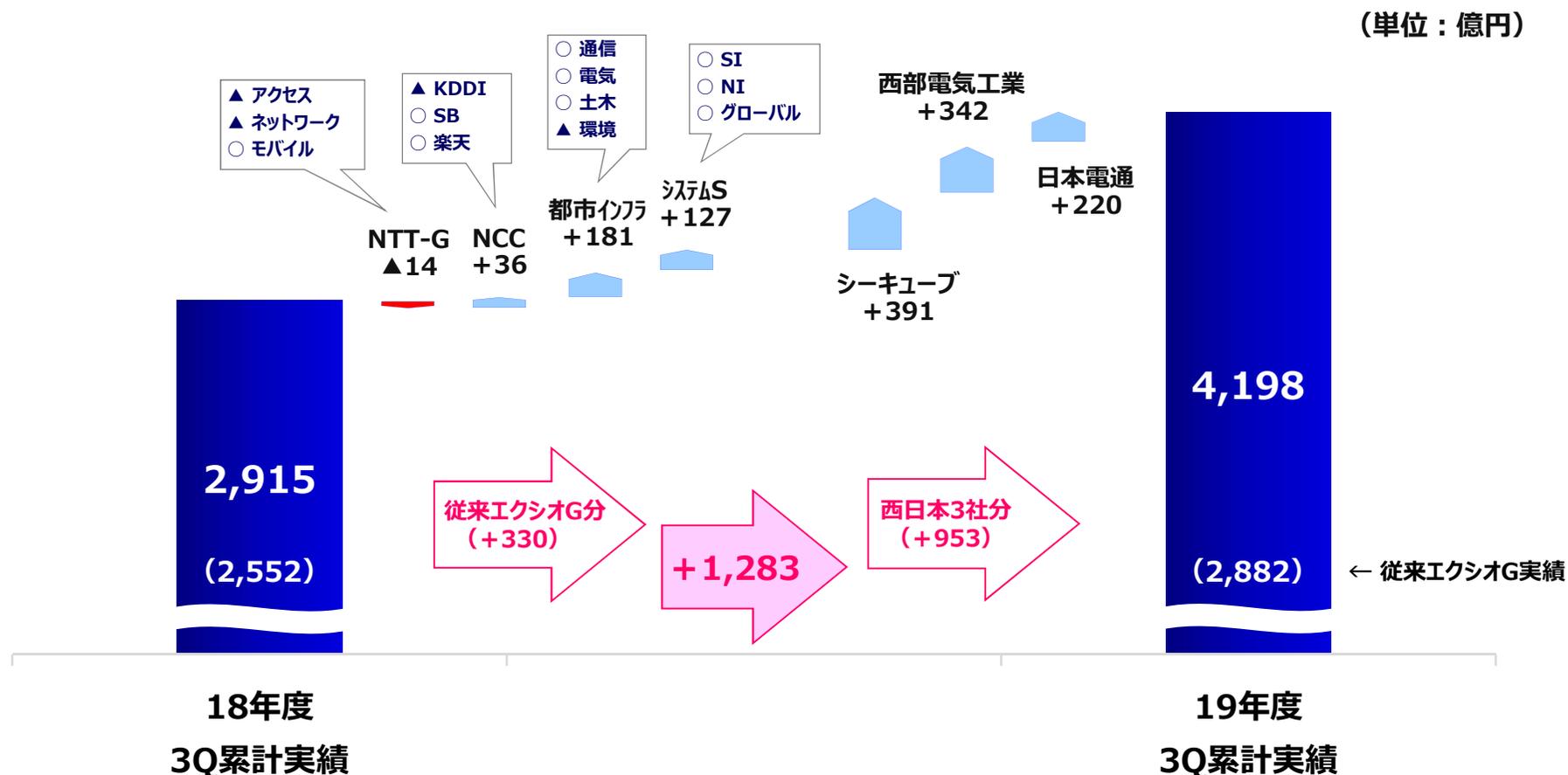
注1) 億円未満は切り捨てています。 注2) () 内は売上高に対する割合です。

3. 2019年度 第3四半期業績



(2) 受注高

◆ 各セグメント好調かつ都市インフラで大型受注があり大幅増、西日本3社も好調



○：増要因 ▲：減要因 -：増減なし

注) 億円未満は切り捨てています。

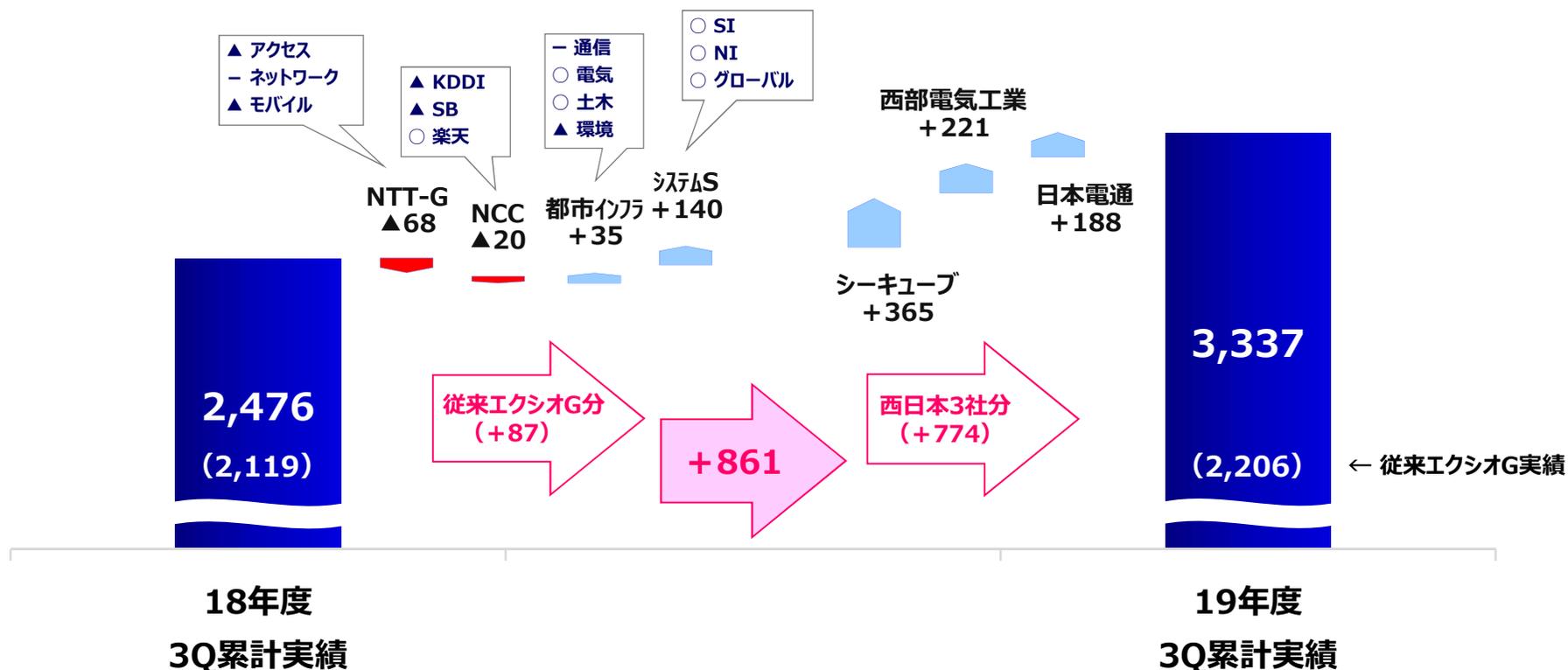
3. 2019年度 第3四半期業績



(3) 売上高

◆ 各セグメントの一部工事において工期延伸があるも、好調な受注を背景に順調に推移

(単位：億円)



注) 億円未満は切り捨てています。

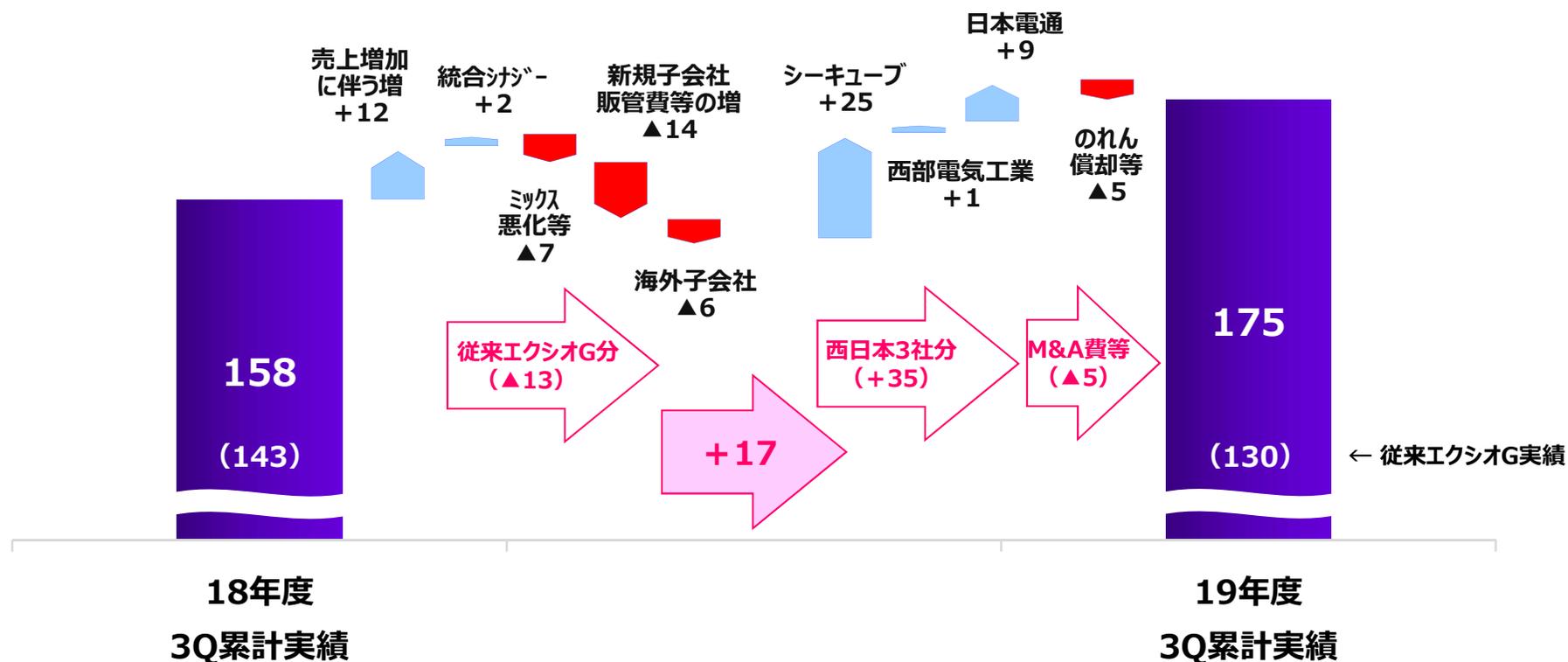
3. 2019年度 第3四半期業績



(4) 営業利益

◆ ミックス悪化やM&Aに伴う販管費の増加があるも、西日本3社の寄与もあり増益

(単位：億円)



注) 億円未満は切り捨てています。

3. 2019年度 第3四半期業績

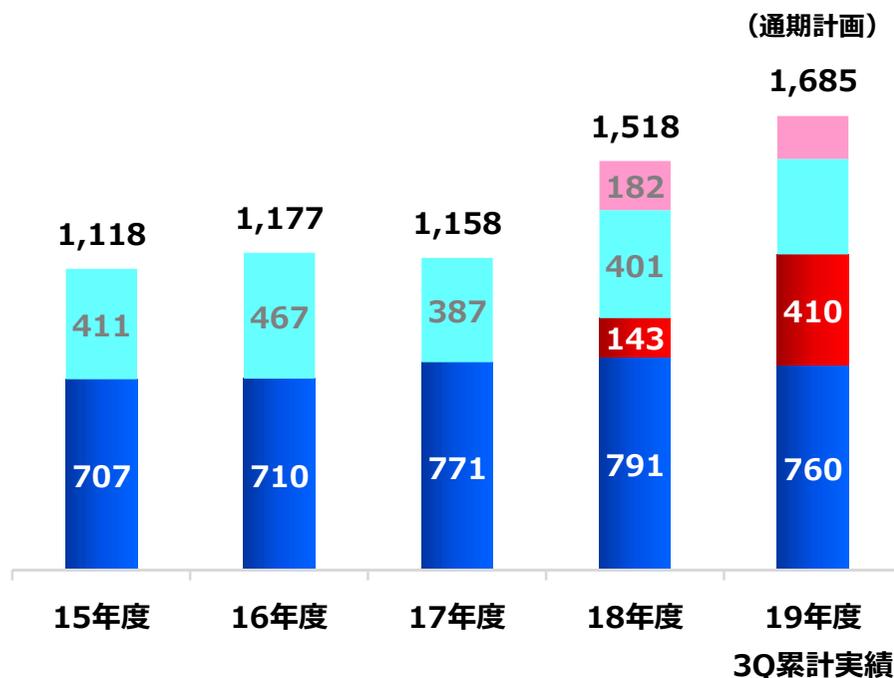
(5) NTTグループ (アクセス、ネットワーク)

- ◆ 光開通工事は堅調、かつ保守や災害対策工事も近年徐々に増加
- ◆ モバイルトラヒックの増加に伴いNTTビル内のネットワーク工事も堅調

■ NTTグループ (固定系) の売上高推移 (連結)

(単位：億円)

■ 従来エクシオG 3Q累計実績 ■ 西日本3社 3Q累計実績
 ■ 従来エクシオG 4Q分 ■ 西日本3社 4Q分



■ NTTグループの災害対策の取組み

1. 通信ネットワークの信頼性向上 (伝送路の複数ルート化など)

2. 重要通信の確保

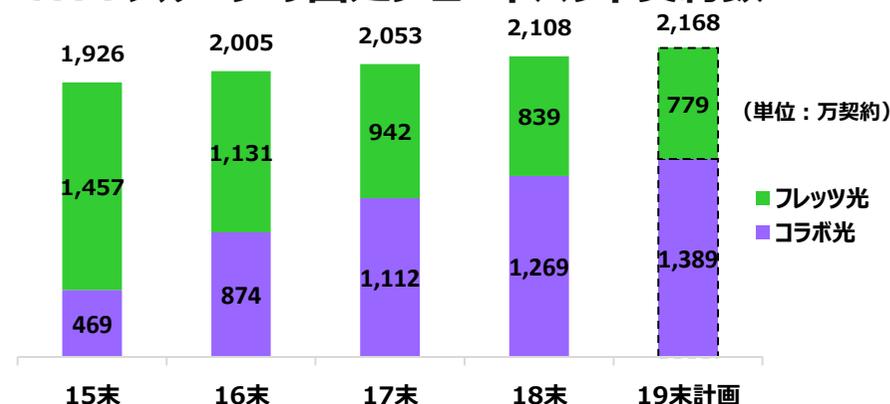
3. 早期復旧



- ・ 通信インフラを更に強く (通信設備の集約等)
- ・ プロアクティブな災害対応
- ・ 適切な情報発信

(出所：NTT発表資料より当社作成)

■ NTTグループの固定ブロードバンド契約数



3. 2019年度 第3四半期業績

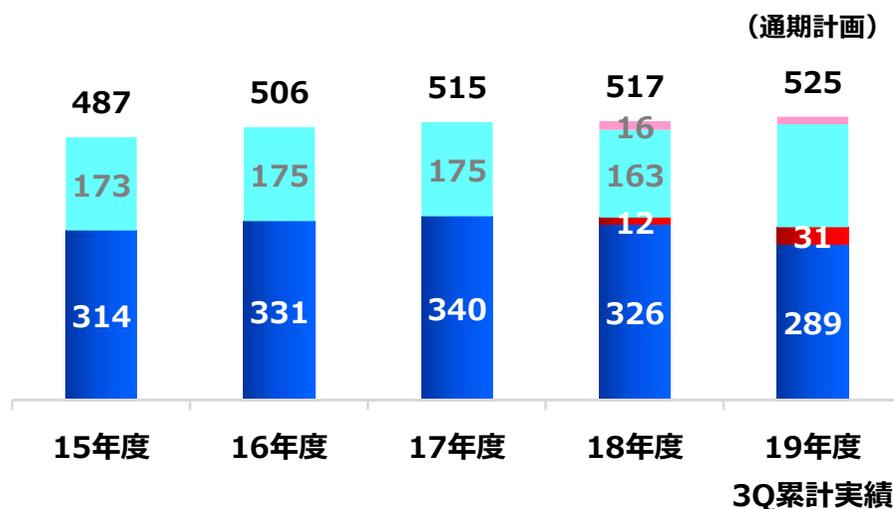
(6) NTTグループ (モバイル)

- ◆ 4Gの新周波数(3.4GHz)基地局工事の受注が2Qから始まる
- ◆ 5G受注もスタート、前倒しで基地局工事が進む場合に備えて新たな施工体制を準備

■ NTTグループ (モバイル) の売上高推移 (連結)

(単位：億円)

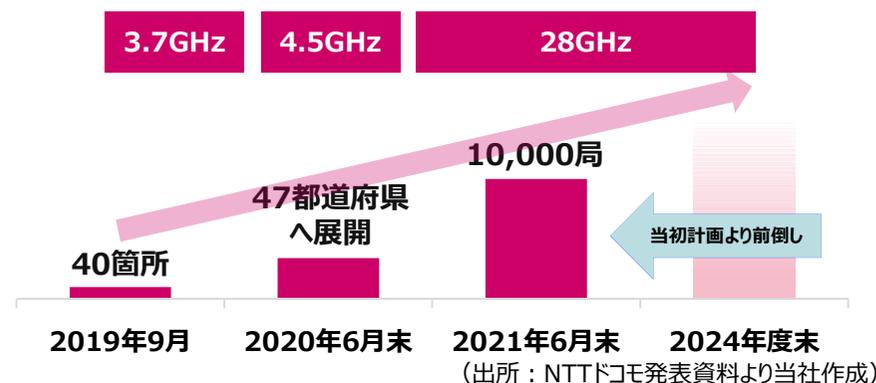
- 従来エクシオG 3Q累計実績 ■ 西日本3社 3Q累計実績
- 従来エクシオG 4Q分 ■ 西日本3社 4Q分



■ NTTドコモの主要工程イメージ (当社想定)



■ NTTドコモの5Gネットワークの構築



3. 2019年度 第3四半期業績



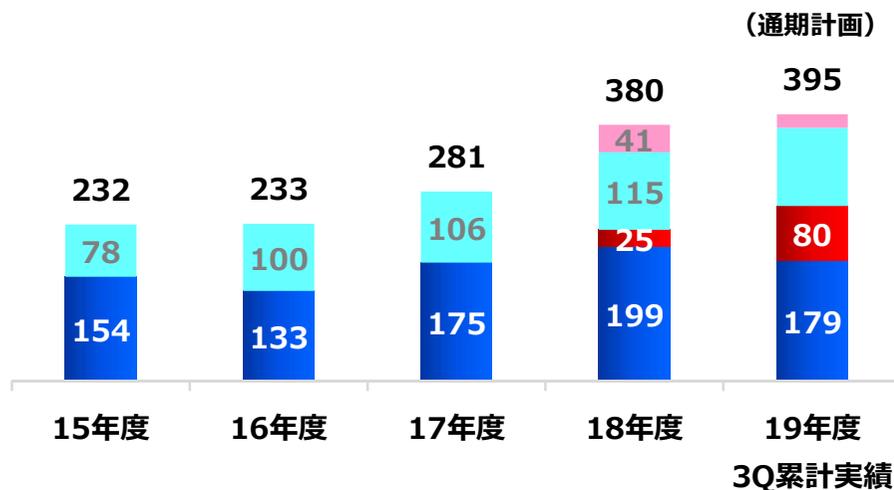
(7) NCC

- ◆ KDDIからの受注はやや低調だが、ソフトバンク・楽天からの受注は非常に好調
- ◆ 楽天の無線基地局工事は全国で始まり、西日本3社と連携して対応中

■ NCCの売上高推移（連結）

(単位：億円)

■ 従来エクシオG 3Q累計実績 ■ 西日本3社 3Q累計実績
 ■ 従来エクシオG 4Q分 ■ 西日本3社 4Q分

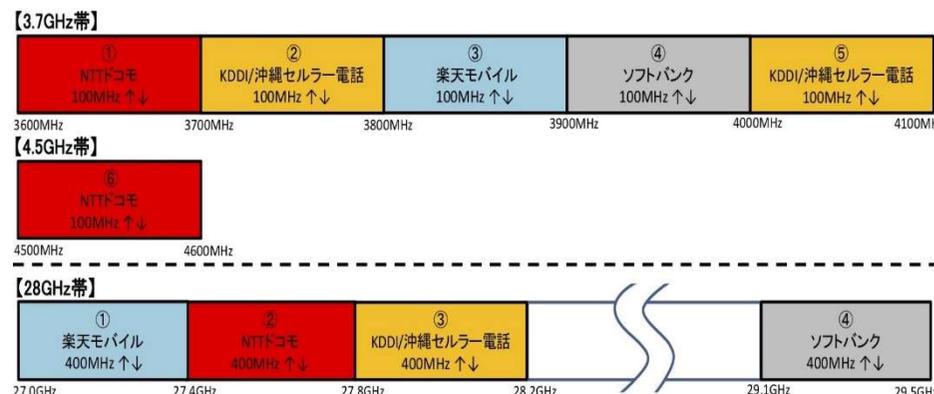


■ 4G新周波数1.7G、3.4G基地局の開設計画数



(出所：総務省総合通信基盤局資料より当社作成)

■ 5Gの周波数割り当て結果



3. 2019年度 第3四半期業績

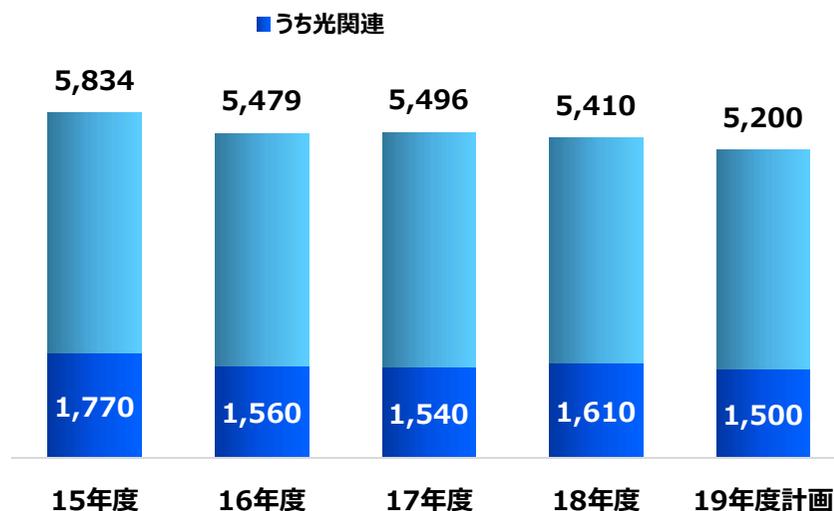


<参考> 主要通信キャリアの設備投資動向

(出所：通信キャリア各社発表値)

(単位：億円)

■ NTT東西



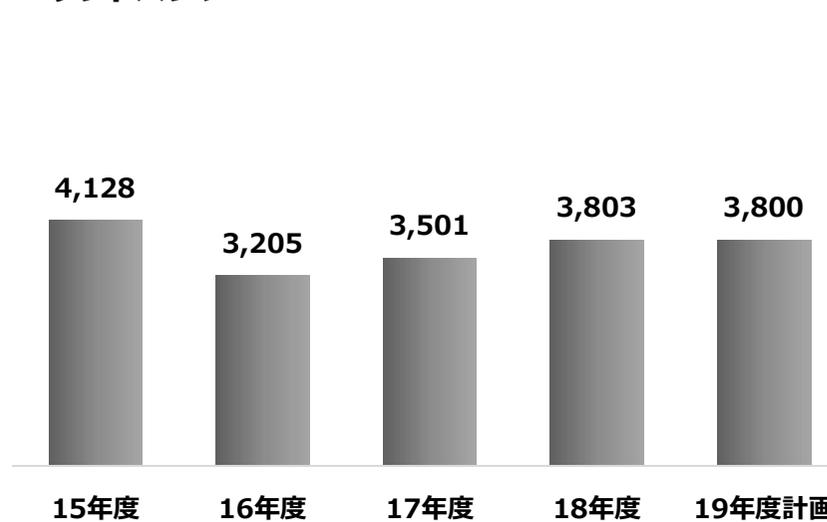
■ NTTドコモ



■ KDDI



■ ソフトバンク



3. 2019年度 第3四半期業績

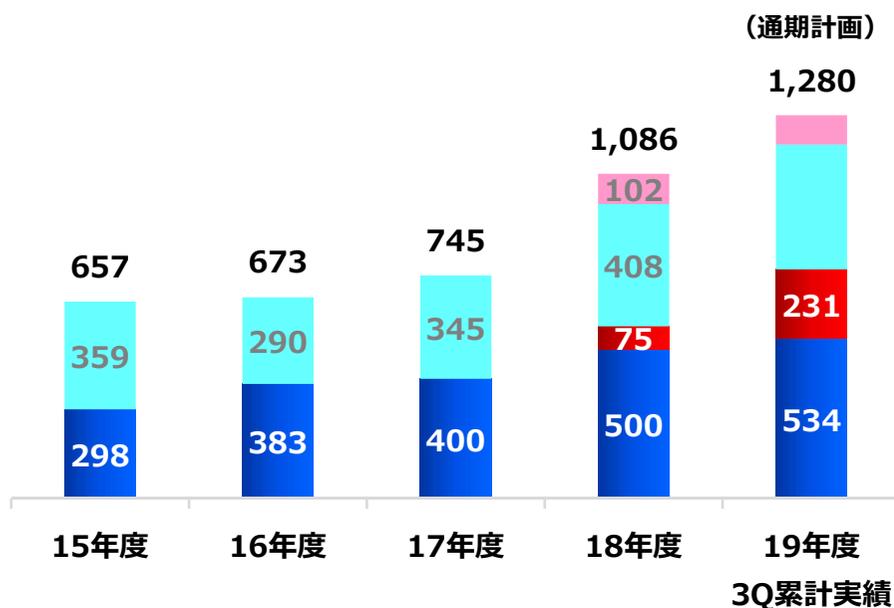
(8) 都市インフラ

- ◆ 700MHzテレビ受信対策工事は下半期に減少傾向も、高水準な売上を見込む
- ◆ メガソーラーやデータセンタ等の大型受注があり、今後も大規模案件の獲得を狙う

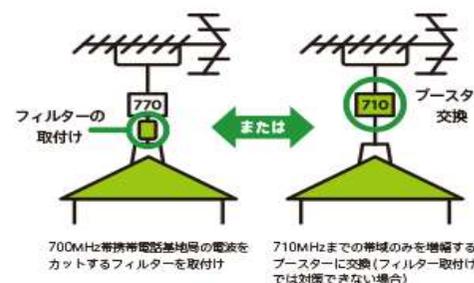
■ 都市インフラの売上高推移 (連結)

(単位：億円)

■ 従来エクシオG 3Q累計実績 ■ 西日本3社 3Q累計実績
 ■ 従来エクシオG 4Q分 ■ 西日本3社 4Q分



■ 700MHzテレビ受信対策工事

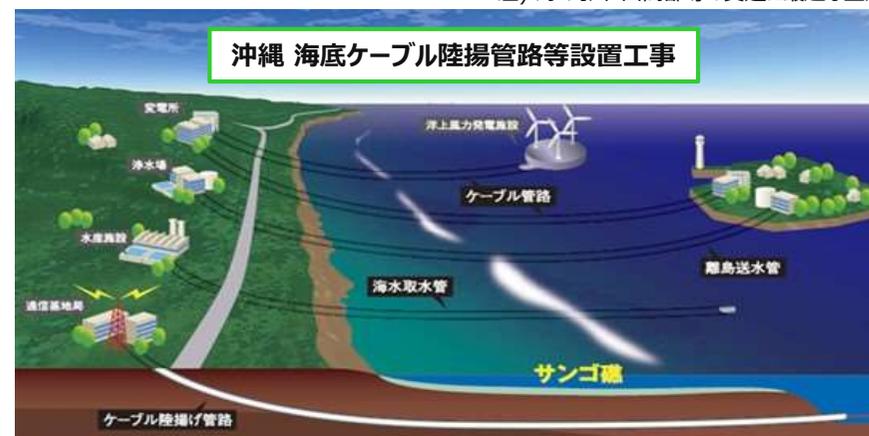


当社施工エリア
 関東・甲信越

(出所：一般社団法人700MHz利用推進協会HPより当社作成)

■ 新たにアースシャトル工法に着手

注) 海・河川・山間部等の貫通に最適な工法



3. 2019年度 第3四半期業績



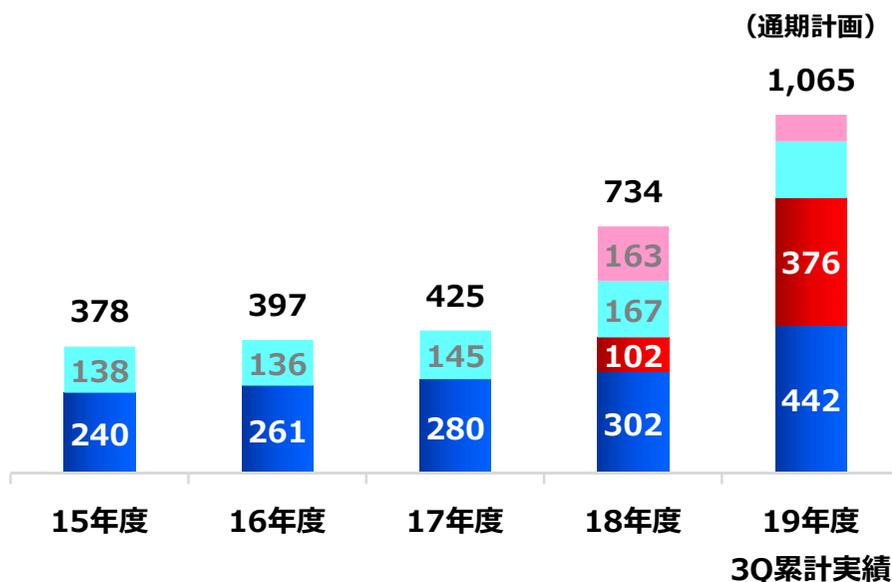
(9) システムソリューション

- ◆ クラウドやセキュリティ分野など新しいソリューション領域の拡大に引き続き注力
- ◆ グローバルはM&Aにより地盤を強化し、APAC地域での事業拡大を推進

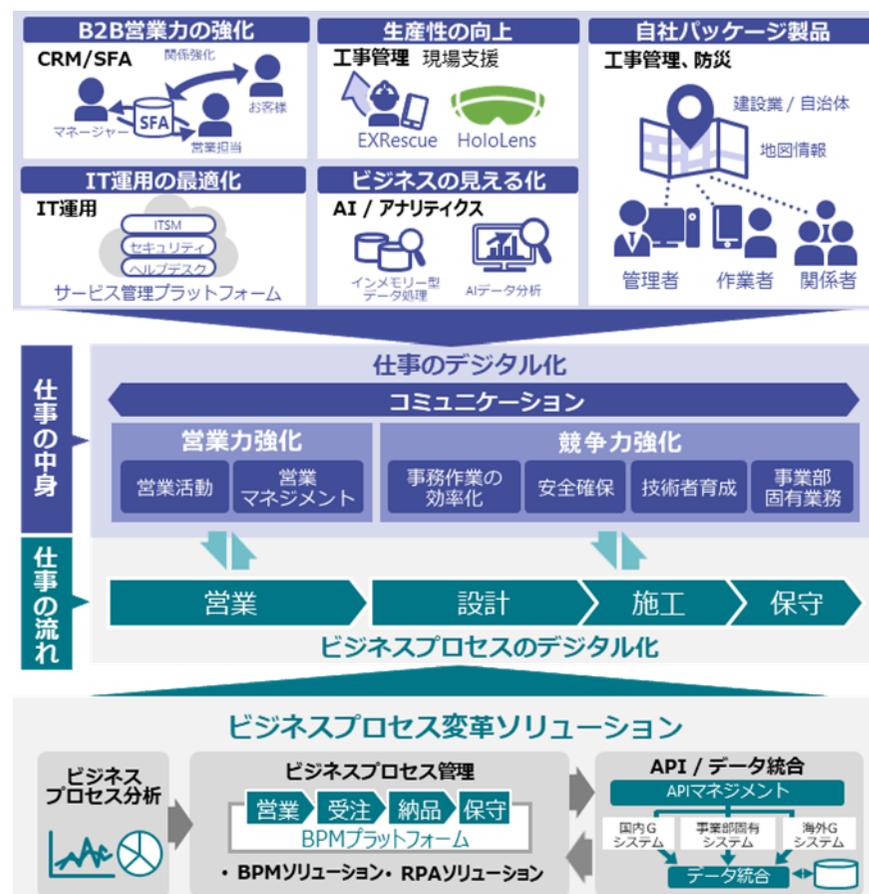
■ システムソリューションの売上高推移 (連結)

(単位：億円)

- 従来エクシオG 3Q累計実績 ■ 西日本3社 3Q累計実績
- 従来エクシオG 4Q分 ■ 西日本3社 4Q分



■ ソリューションマップ^o (付加価値拡大構想)

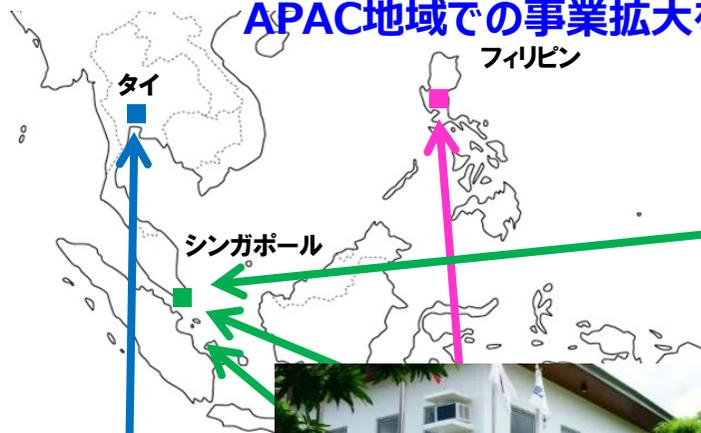


3. 2019年度 第3四半期業績



<参考> グローバル事業

EXEO GLOBALを起点に、
APAC地域での事業拡大を推進



2018年1月にタイに
ICTソリューション等を手掛ける
EXEO ASIA を設立



マニラ近郊に開設したトレーニングセンター外観

日本国内の研修施設と連携して、グローバルで活躍できる技術者を育成
(2018年1月 野田(当時)厚生労働大臣が上記トレーニングセンターを視察)

日本国内の研修施設・・・中央研修センター(埼玉県)
(2019年7月 根本厚生労働大臣が同研修センターを視察)

MGイクシオ(フィリピン) では長年、通信キャリア工事を担う
・現地の大手通信キャリアのアクセス&モバイル工事のみならず保守事業も手掛ける
・鉄道通信・道路関連工事などの都市インフラ事業にも進出

**東南アジアにおける
事業基盤を整備**
・フィリピン ・タイ ・シンガポール

→

- ・空港ICT ・工業団地ICT
- ・データセンターICT
- ・高速道路通信 ・鉄道通信

**2018年11月にシンガポールの電気・総合設備工事会社
LAEグループをグループ化**

名 称	Leng Aik Engineering Pte.Ltd.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	電気設備工事、総合設備工事
資 本 金	150万SGD
従 業 員 数	約260名

**2019年10月にシンガポールの空調設備工事等を手掛ける
Winner Engineeringをグループ化**

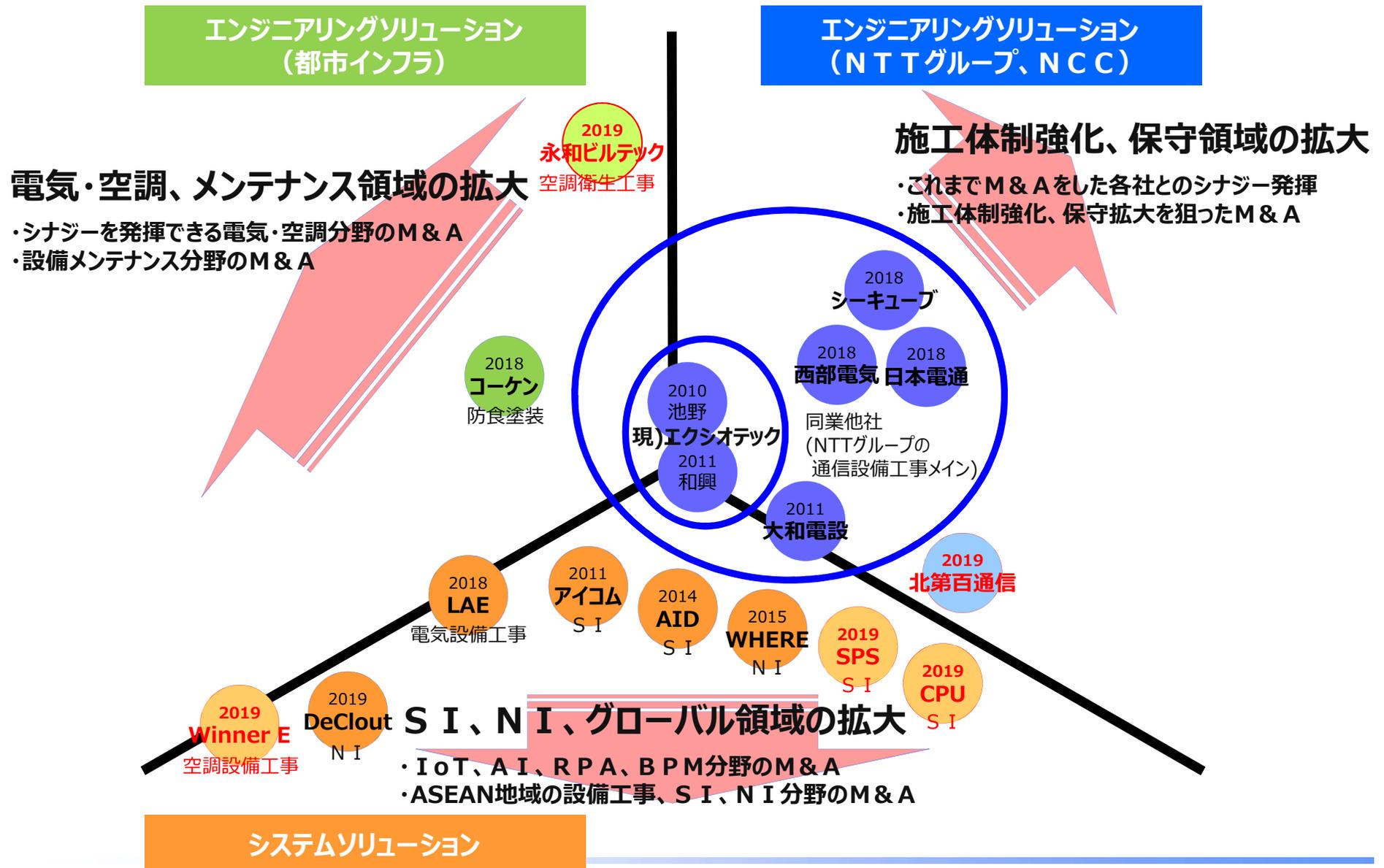
名 称	Winner Engineering pte.Ltd.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	空調設備の設計・施工、電気工事
資 本 金	150万SGD
従 業 員 数	約130名

**2018年11月にシンガポールに海外子会社の運営管理をする
EXEO GLOBAL Pte.Ltd.を設立し、2019年3月にシステム
ソリューション事業をグローバルに展開するDeCloutをグループ化**

名 称	DeClout Limited
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	ITインフラストラクチャの販売・サービスとクラウドサービス
資 本 金	114百万SGD
従 業 員 数	約630名

4. M&A戦略

(1) 事業領域別の展開イメージ



5. ESG、SDGsに関する取り組み

(1) ESGの取り組み

E 環境

- ・ CO₂排出量の低減 ⇒ 電力・ガソリン使用量の前年度比1%削減
- ・ グリーンエネルギーの利用、森林保護 ⇒ 太陽光発電事業、エクシオの森林など
- ・ グリーン調達の実進 ⇒ エコ製品購入率63%以上

～「エクシオの森林」活動～

当社は、創立50周年を契機に、地球温暖化防止と地域社会への貢献を強く意識し、現在全国5か所で地域の森林管理局と分収育林契約※を結んでいます。それぞれを「エクシオの森林」と名付け、国有林の保全と社員および家族の親睦を目的として活動しています

※伐採しないことを前提とした国有林の保全活動契約

当社株式は、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に採用されています
(2019年6月現在)



※DS：ダイバーシティ、WLB：ワーク・ライフ・バランス

S 社会

- ・ DS、WLB※の推進 ⇒ 女性新卒採用比率25%以上、総労働時間短縮など
- ・ 安全・品質の確保 ⇒ 重大事故0件/年、品質理念の徹底と継続教育など
- ・ 社会・地域への貢献 ⇒ 自然災害時の復旧・復興対応、地域清掃活動など

G ガバナンス

- ・ コーポレートガバナンスの強化 ⇒ 取締役会の実効性評価の開示など
- ・ コンプライアンスの徹底 ⇒ 委員会の開催、内部通報制度の利用促進など
- ・ リスクマネジメントの適切管理 ⇒ 業務プロセスリスクの特定、BCP強化など

5. ESG、SDGsに関する取り組み



(2) SDGsへの取り組み

① インフラ事業を通じた安心・安全な社会の実現

誰もが安心・安全で暮らせる街づくりを実現
自然災害にも強いインフラ構築に貢献



② ソリューション事業を通じた豊かな社会の実現

IoT技術を通じて社会的な課題の解決や豊かな社会の実現



③ 地球環境の保全と循環型社会の実現

資源の循環、資源の有効利用を促進、地球温暖化防止に向けた社会の実現



④ ステークホルダーとの良好なコミュニケーションを実現

ステークホルダーの期待に応えるため、良好なコミュニケーションを高め、課題を解決



6. 株主価値の向上



(1) 株主還元施策

- ◆ 2018年度配当から、DOEを3.5%目途に引き上げ株主還元を強化
- ◆ 2019年度上半期に50億の自己株式取得を実施

■ 2019年度 年間配当予定 : 80円

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予定
	DOE 3%	DOE 3%	DOE 3.5% (下期から経営統合)	DOE 3.5%
1株当たり年間配当	46円	50円	70円	80円
年間配当総額	43.8億円	47.8億円	73.1億	89.7億
配当性向	31.7%	26.4%	※32.9%	41.2%

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん)を差し引いて計算

■ 2019年度上半期に実施した自己株式取得の概要

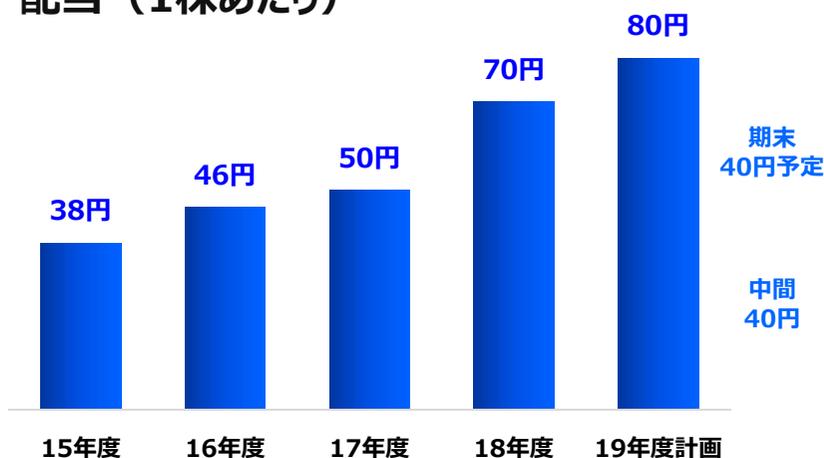
- ◆ 取得理由 機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上
- ◆ 取得総額 50億円
- ◆ 取得株式総数 193万株
- ◆ 取得期間 2019年5月15日 ~ 2019年9月30日

6. 株主価値の向上

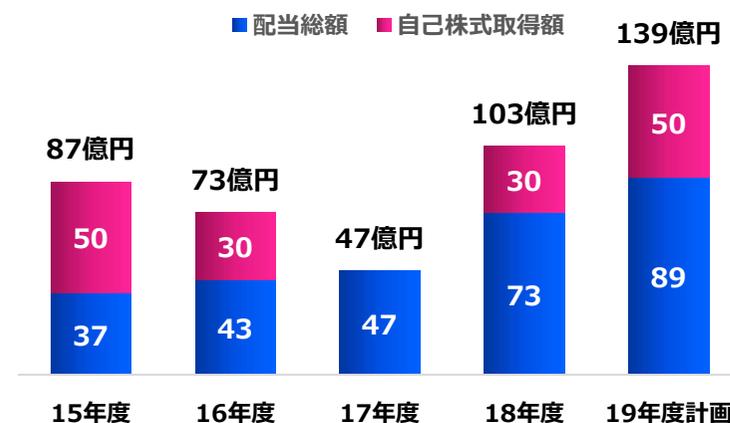


(2) 2019年度株主還元計画等

■ 配当（1株あたり）



■ 総還元額（配当総額 + 自己株式取得総額）

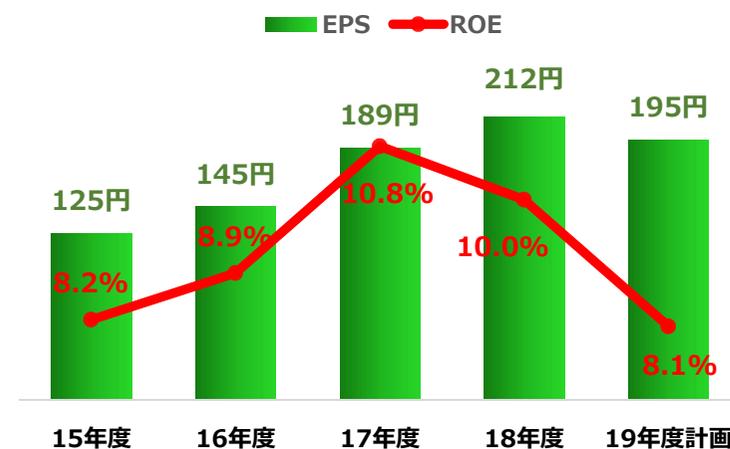


■ 自己株式取得



■ ROE、EPS

注) 18年度のROEとEPSは経営統合に伴う特別利益(負ののれん)を差し引いて計算



7. トピックス

(1) 当社社員が技能五輪全国大会で金メダルを獲得

◆ 2019年11月15日から4日間、愛知県で開催された「第57回 技能五輪全国大会」の情報ネットワーク施工職種において、当社の海老原社員が見事に金メダルを獲得

- 技能五輪全国大会における当社社員の金メダル獲得は3大会ぶり7回目
また、隔年で開催される国際大会に当社社員は日本代表として過去5回出場し、全ての大会で金メダルを獲得



注) 技能五輪全国大会は、原則23歳以下の青年技能者たちが種目別に技能を競い合う大会で、今大会は42職種に1,239名の選手が参加
海老原社員が出場した「情報ネットワーク施工」職種は、光ファイバ融着接続のスピード競技やビル構内を想定した配線施工課題などを2日間で合計約8時間に及ぶ規定時間の中で競技する種目

7. トピックス

(2) 当社が「なでしこ銘柄」に選定

- ◆ 経済産業省と東京証券取引所が共同で、女性活躍推進に優れた上場企業を選定する令和元年度「なでしこ銘柄」に選定（2020年3月3日発表）

当社では、経営戦略の一環として本格的にダイバーシティ推進に取り組んでいます。

経営トップのコミットメントのもと、女性活躍推進については定量的な目標を公表し、経営幹部・男性従業員・女性従業員それぞれの意識改革や各種研修を実施しているほか制度面の充実も図っています。

また、DX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みと合わせ、生産性の向上にも積極的に取り組んでいます。



注) 「なでしこ銘柄」とは

経済産業省と東京証券取引所が共同で、2012年度より「女性活躍推進」に優れた上場企業を中長期の企業価値向上を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて企業への投資を促進し、各社の取組を加速化していくことを狙いとした制度で、令和元年度は業種ごとに46社が選定

見通しに関する注記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【お問合せ先】

経営企画部 IR担当

今井、宮本、深堀

T E L 03-5778-1073

U R L <http://www.exeo.co.jp>

当社ホームページに各種IR資料を掲載しております。
ご利用ください。